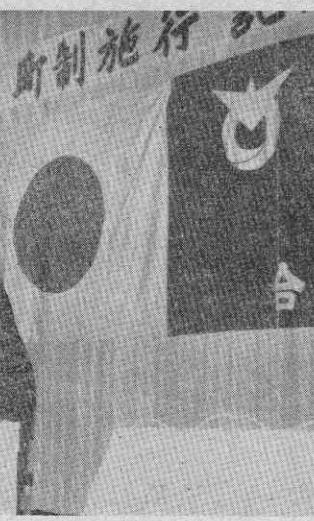


松橋さんらを表彰

第九回町制施行記念日に

町では、三月三十一日九回めの町制施行記念日にあたり、午前十時から合川劇場において記念式を行ない、席上町政功労者として松橋由於氏（前町議会議長）をはじめ、五百八人の納納税優良者と六十名の国保協力優良者が表彰された。（写真は、輝しい町制記念式）



町では、三月三十一日九回めの町制施行記念日にあたり、午前十時から合川劇場において記念式を行ない、席上町政功労者として松橋由於氏（前町議会議長）をはじめ、五百八人の納納税優良者と六十名の国保協力優良者が表彰された。（写真は、輝しい町制記念式）

川口小学校訓導をはじめ、町内郡内各小学校を歴任し教員生活十五年の後、さらにおされて下小阿仁村議會議員となり議長をつとめる。氏の人柄は厳格の中に社会正義の気魄を貫きながら人情に厚く、よく人々のめんどうを見られ皆から“おぢいさん”「議長さん」と親しまれていた。

昭和二十九年、当時の上大野、下大野、落合、下小阿仁の四カ村が町村合併を目ざして合併協議会をつくったときは、その高齢と円満な人柄を買われて会長に



松橋さんは、明治十九年十月、三里の旧家松橋家の長男として生れ、ことしで五十五歳。学校の先生を志して秋田師範学校を卒業したのは明治三十九年三月（田畠、宅地、山林、原野）

おされ、四カ村のちがつた合併条件や難問題をよく調整、小異をすて大同に立つた理想と希望をかげ情熱をつくして説得にあたり、つい先ごろ九年前の昭和三十一年三月三十一日輝かしい合川町の誕生をみることができた。

いらいに議長となつて、新生合川町の一體性確立のために口ぐせのように町の『和』を説いて、合川精神”となし輝かしい合川町の伝統のために骨肉の植えつけに努力された。

今や、町の誕生九歳、町民の心には誇りと希望がいっぱいです。それこそ明

木戸石で十一棟焼く

風呂場の不始末から

十二日午後十時ごろ木戸

石部落の小野佐市さん（六三）

方から出火、無風状態であ

りながら、カヤぶきの建物

が密集していたためみるみ

る延焼、住家六棟三八〇平

方坪、非住家五棟一一三平

方坪を焼いて同十一時ごろ

運動強調週間を展開中での

葉たばこの耕作者に

の耕作者に

の耕